

Tour de Hokkaido 2021

パンデミック深刻度評価

Pandemic Severity Assessment

大会90日前評価

2021.6.28

公益財団法人ツール・ド・北海道協会

1.概要

2.日本国内及び北海道における感染状況

3.「ツール・ド・北海道2021」国際レースのリスク評価

1.概要

UCI(国際自転車競技連合)では、主催者に対してパンデミック深刻度の評価を求めており、評価基準として以下の4指標を掲げている。

- ① 地域レベルにおける14日間の人口10万人当たりの新規陽性者数
- ② 検査陽性率(前週における検査に対する陽性の割合)
- ③ 検査率(前週における人口10万人当たりの検査数)
- ④ 実効再生産数(1人の感染者が周囲に感染させた平均人数)

また、世界の全ての国でアクセスできる基準として、ECDC(欧州疾病予防管理センター)が提案したカラーコードの使用を推奨している。

「Rules to be applied for the organisation of road cycling competitions in the context of the COVID-19 pandemic UCI Class 1 – UCI Class 2 events」 March29, 2021

UNION CYCLISTE INTERNATIONALE(UCI)

Table-1 UCIの評価指標

	全国	北海道	備 考
①新規陽性者数	16.5	17.2	6月12日～25日、14日間10万人当り
②陽性率	2.7%	1.9%	6月25日現在
③検査率	384	339	6月14日～6月20日、人口10万人当り検査数
④実効再生産数	0.98	0.60	東洋経済サイト、6月25日

Table-2 「欧州疾病予防管理センター」のカラーコード
(European Centre for Disease Prevention and Control)

ECDC Code			Hokkaido Alert Stage			Japan Alert Stage		
色	14日間10万人あたりの新規陽性者数	陽性率	警戒ステージ	14日間10万人あたりの新規陽性者数	陽性率	警戒ステージ	14日間10万人あたり新規陽性者数	陽性率
グリーン	25未満	4%未満	2	4以上				
			3	5以上				
オレンジ	50未満	4%以上	4	30以上	10%	Ⅲ	30以上	5%以上
	25～150	4%未満						
レッド	50以上	4%以上	5	50以上	10%	Ⅳ	50以上	10%以上
	150以上							
ダークレッド	500以上							
グレー	十分な情報がない場合							

2. 日本国内及び 北海道における感染状況

- (1) 国内及び北海道における新規陽性者数の推移
- (2) 死者数の推移
- (3) 5つの指標(都道府県別)、北海道の警戒ステージ
- (4) PCR検査実施件数の推移
- (5) 実効再生産数の推移
- (6) 国際レース通過地域の感染状況

(1) 新規陽性者数(日本全国)

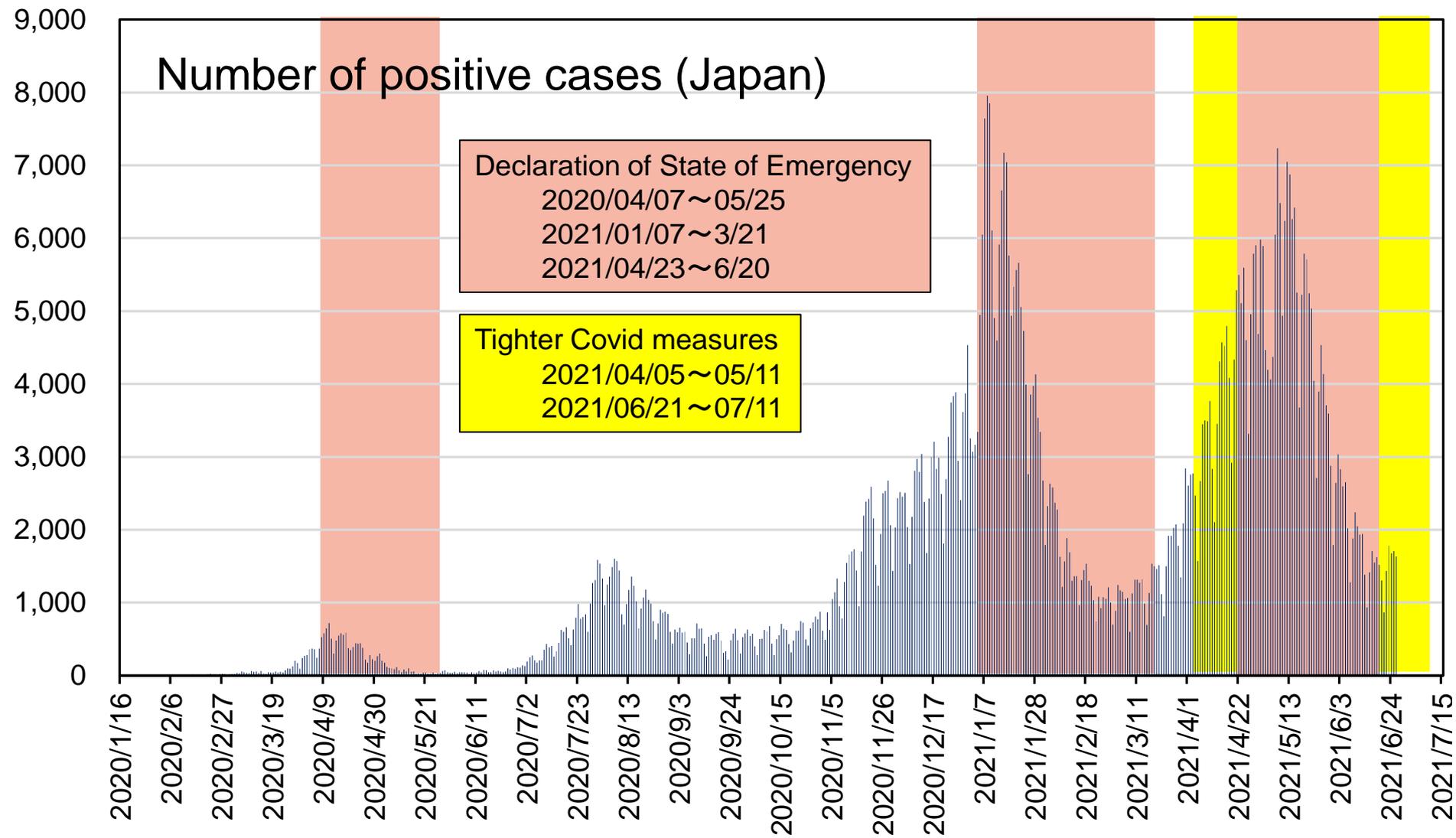


Fig-1 Number of Positive Cases (Japan)

2021/6/25

(1) 新規陽性者数(北海道)

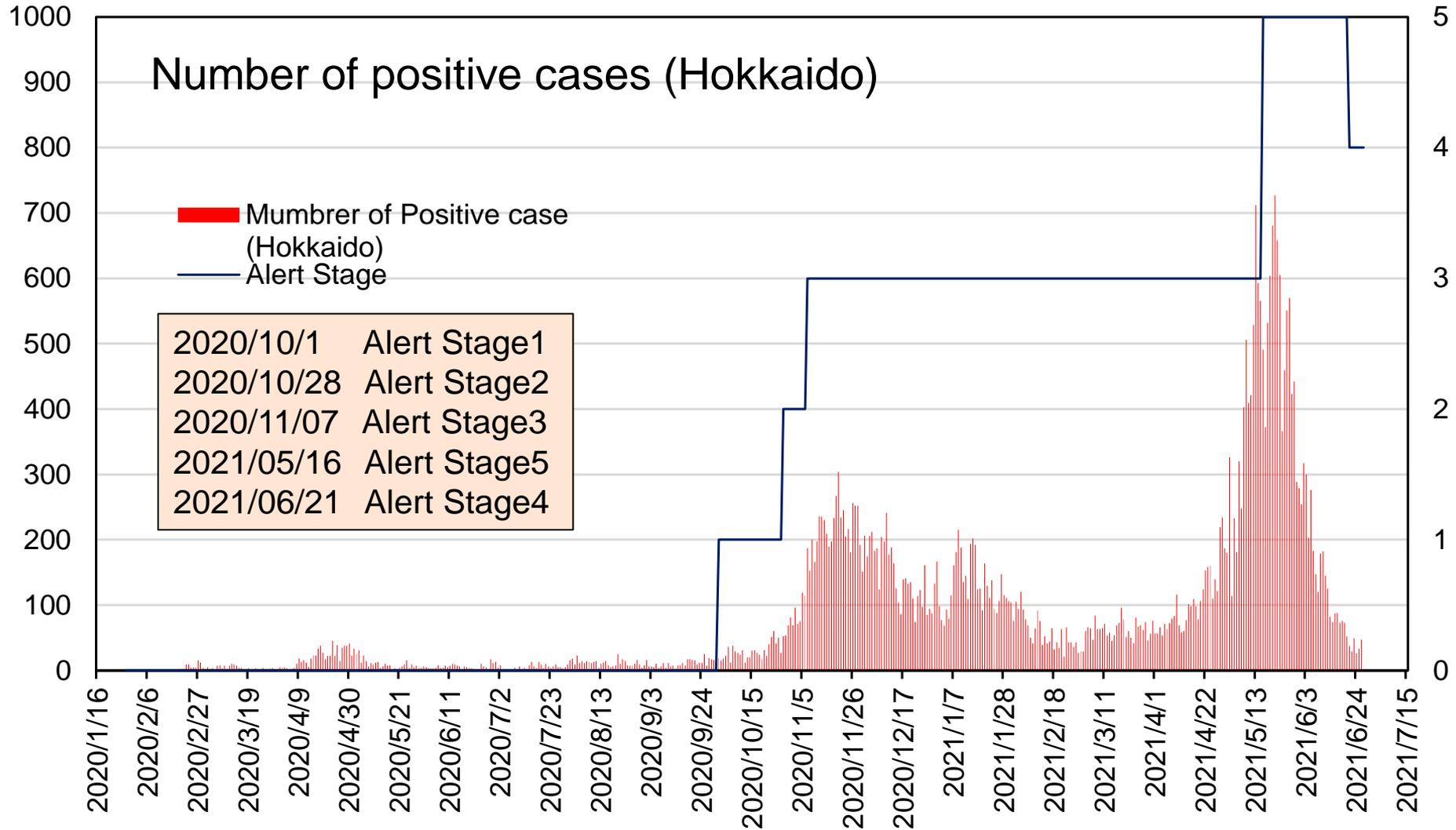


Fig-2 Number of Positive Cases (Hokkaido)

2021/6/25

(2) 死者数(日本全国)

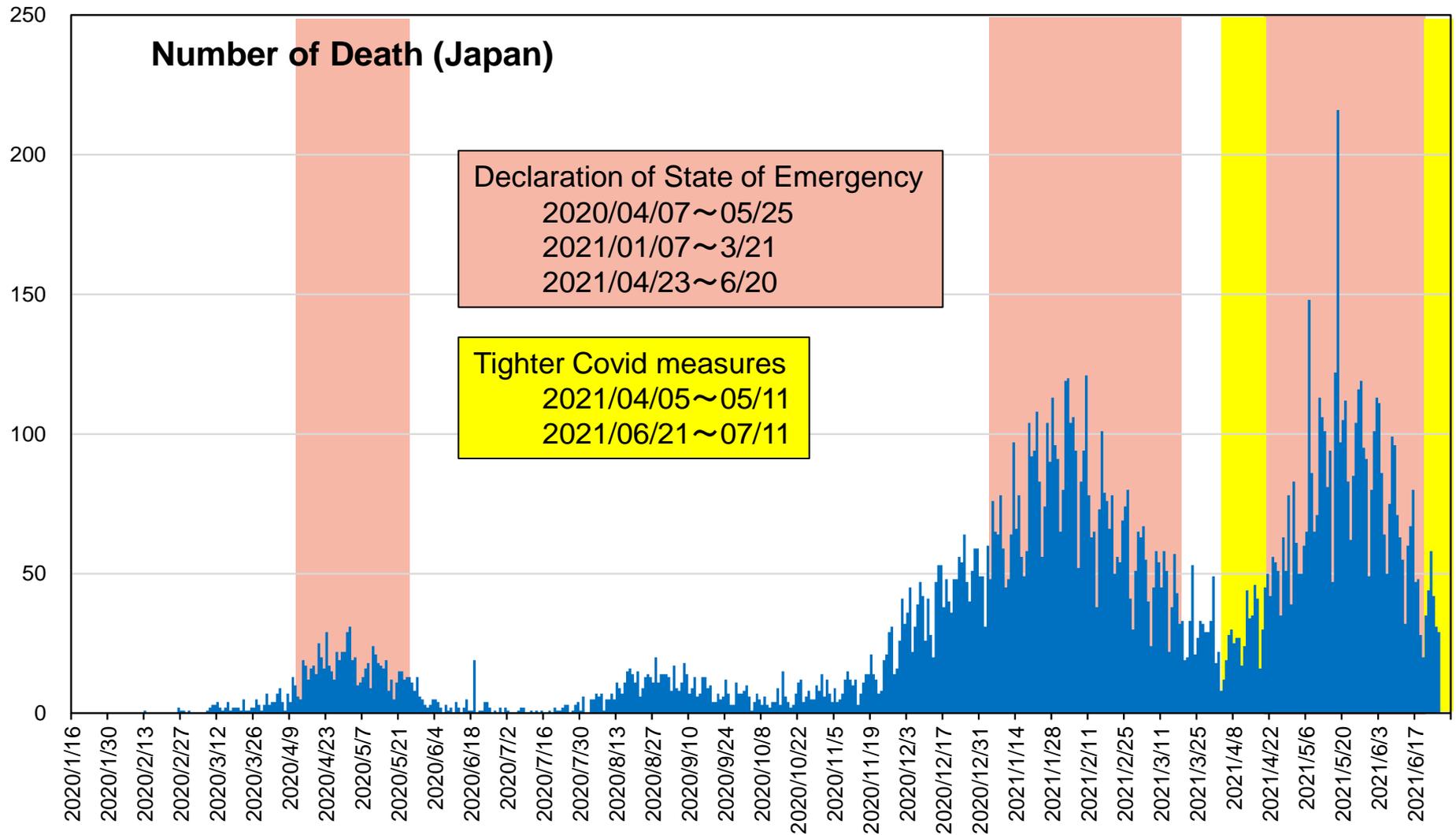


Fig-1 Number of Death (Japan)

2021/6/25

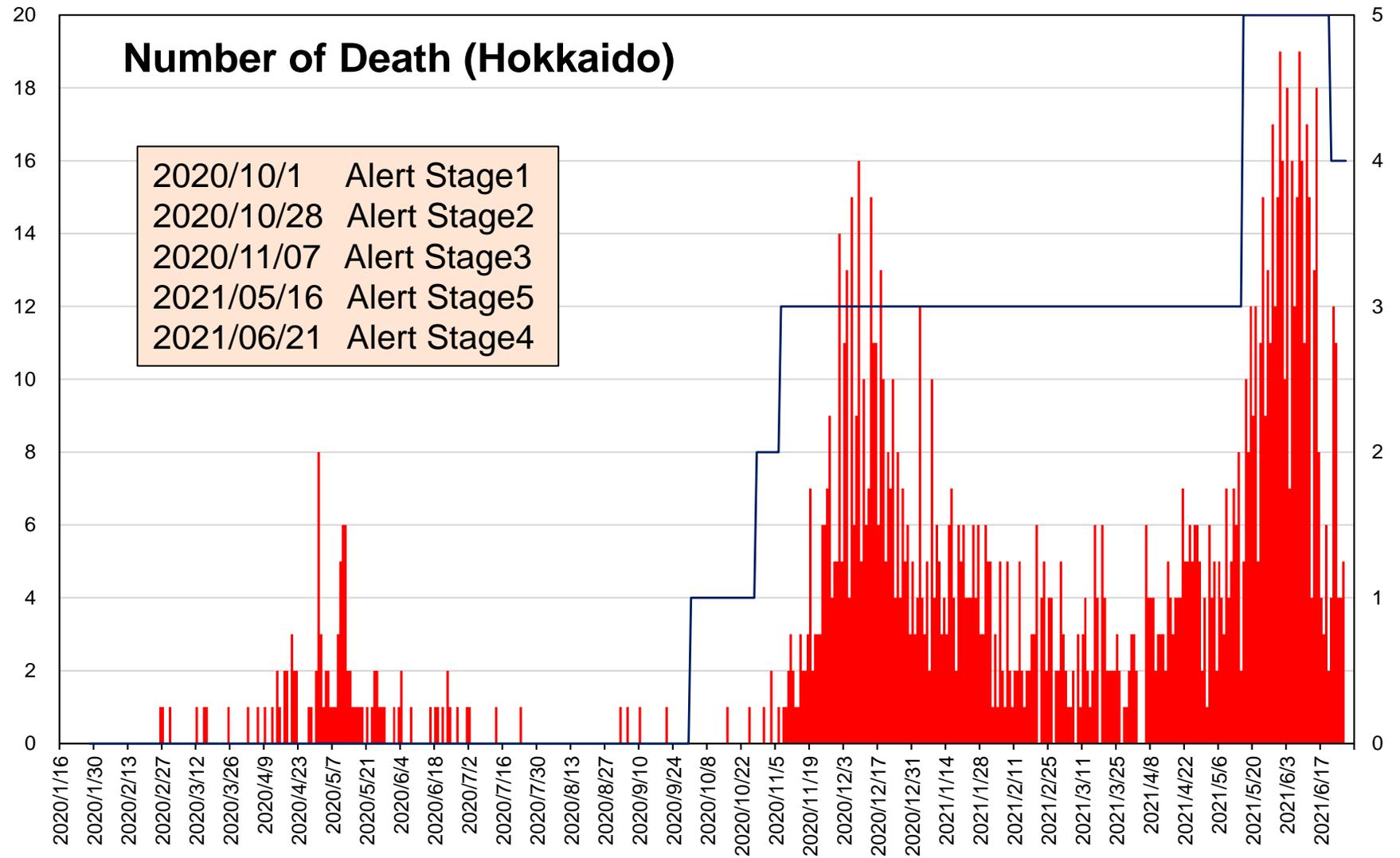
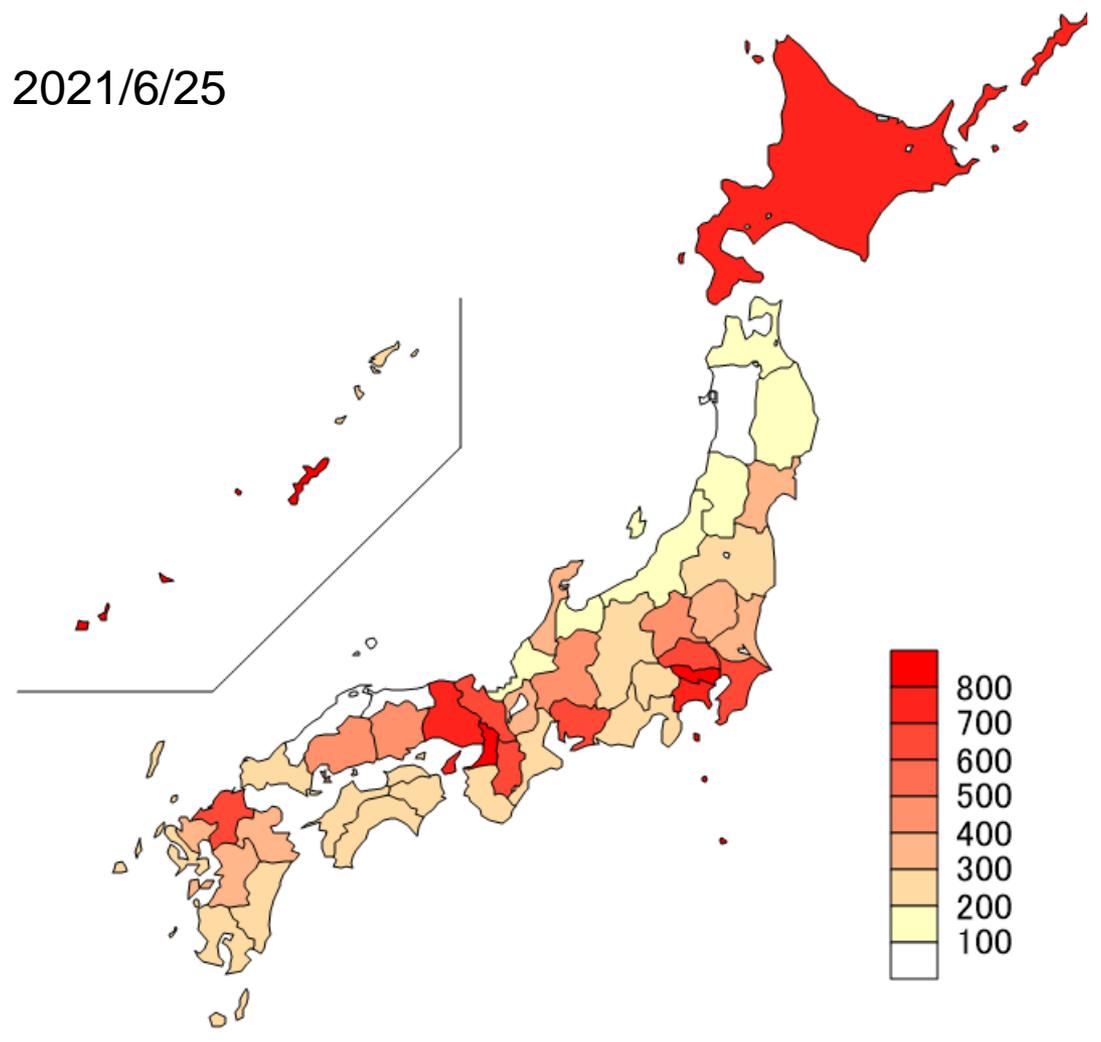


Fig-2 Number of Positive Cases (Hokkaido)

2021/6/25

(3) 都道府県別人口10万人当たり陽性者数

2021/6/25



No	Prefecture	No. of Positive
1	Okinawa	1,414.0
2	Tokyo	1,235.8
3	Osaka	1,169.7
4	Hokkaido	785.1
5	Hyogo	747.3
6	Kanagawa	724.1
7	Fukuoka	693.8
8	Aichi	674.4
9	Kyoto	640.3
10	Chiba	636.1
11	Saitama	627.2
12	Nara	611.5
13	Gifu	465.3
14	Gunma	413.1
15	Hiroshima	409.0
16	Okayama	401.4
17	Miyagi	394.8
18	Shiga	391.6
19	Kumamoto	370.2
20	Ibaraki	365.0

Fig-3 No. of Positive people per 100,000 people by Prefecture

表-3 都道府県別の感染状況指標

2021. 6. 25時点

	医療提供体制などの負荷				監視体制	新規感染者数	
	医療のひっ迫具合			10万人あたりの療養者数	PCR陽性率	10万人あたりの新規報告数	感染経路不明割合
	入院者	入院率	重傷者				
ステージⅢ	20%以上	40%以下	20%以上	20人以上	5%以上	1週間で15人以上	50%以上
ステージⅣ	50%以上	25%以下	50%以上	30人以上	10%以上	1週間で25人以上	

北海道	33%	45%	15%	30	1.9%	7	41%
全国	25%	-	12%	14	2.7%	8	-

【参考】

東京都	22%	36%	30%	27	4.6%	22	62%
大阪府	19%	34%	21%	17	0.9%	8	63%

表-4 北海道の警戒ステージ

6月25日現在 「ステージ4」

項目	現在値			1週間			
	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
指標	現在のひっ迫状況		療養者数 =現在患者数	PCR陽性率	新規報告数	先週1週間 との比較 (新規報告数)	感染経路 不明割合
	(病床全体)	うち 重症者用病床					
現在の 状況	605床	23床	減少 1,415人 (2,632人)	減少 1.8% (2.6%)	299人	減少 (605人)	41.8%

北海道の警戒ステージ

ステージ1	-	-	-	-	-	-	-
ステージ2	150床	15床	増加	増加	107人	増加	50%
ステージ3	250床	25床	増加	増加	133人	増加	50%
ステージ4	350床	35床	796人	10%	796人	増加	50%
ステージ5	900床	90床	1,327人	10%	1,327人	増加	50%

(4) PCR検査実施件数の推移

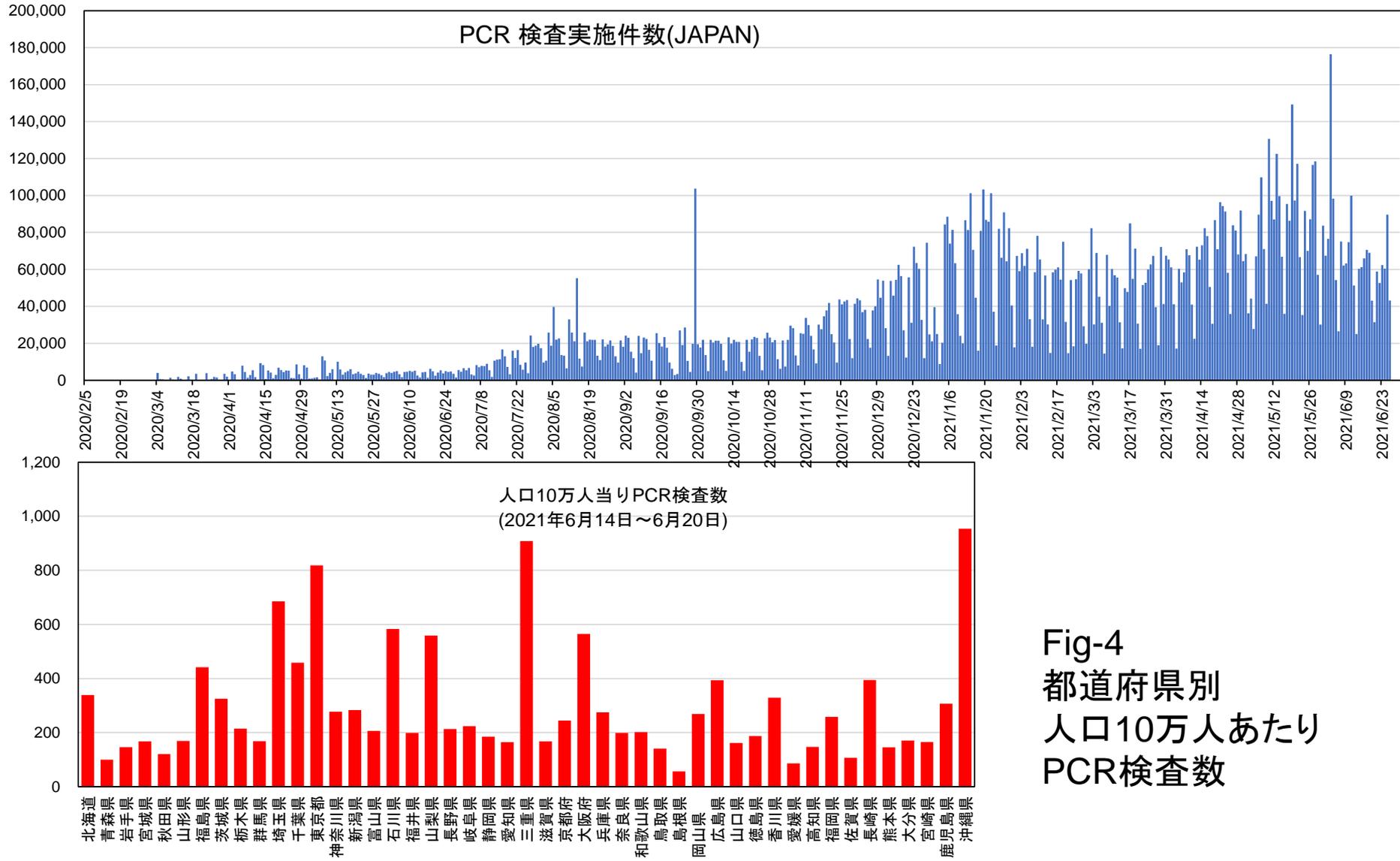


Fig-4
都道府県別
人口10万人あたり
PCR検査数

(5) 実効再生産数の推移

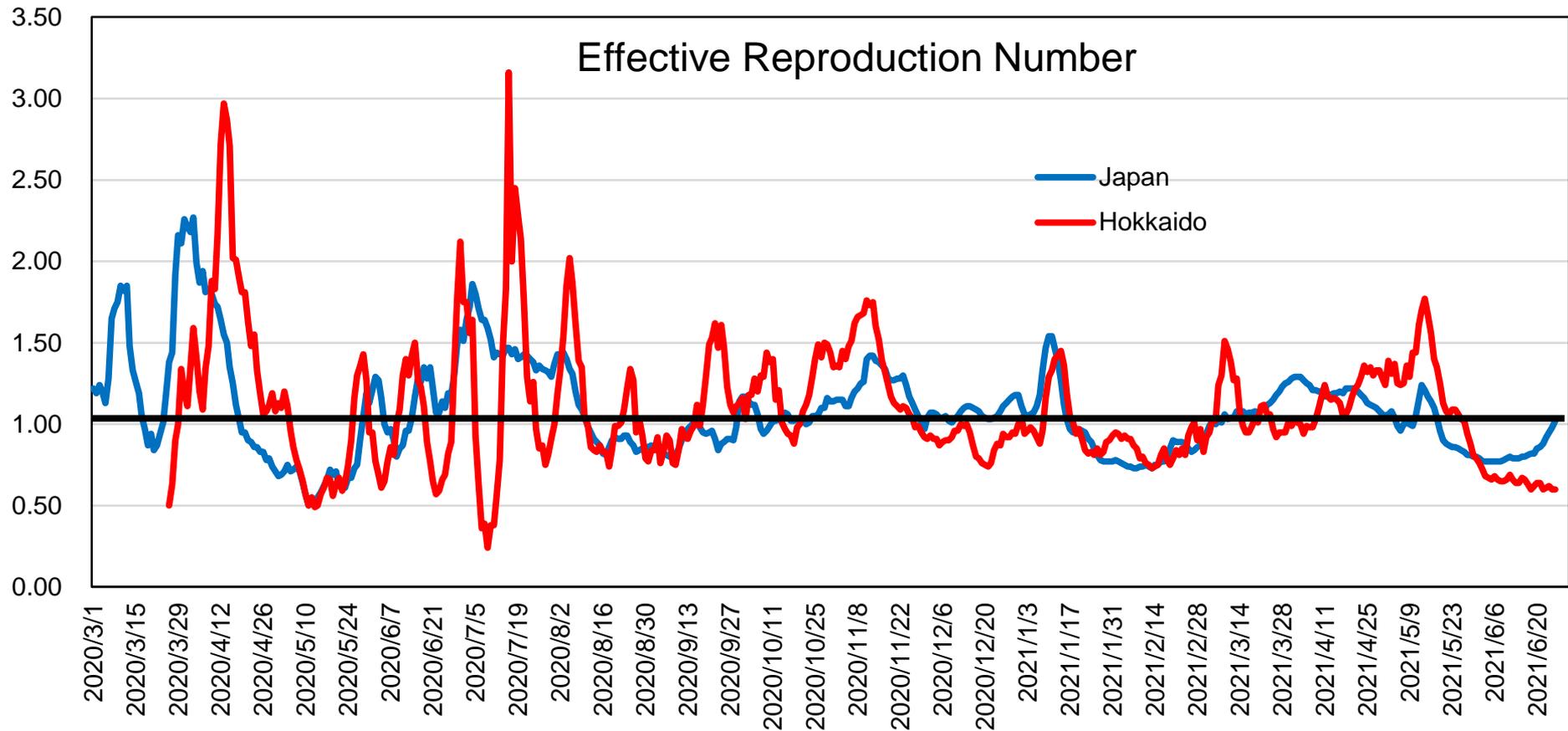
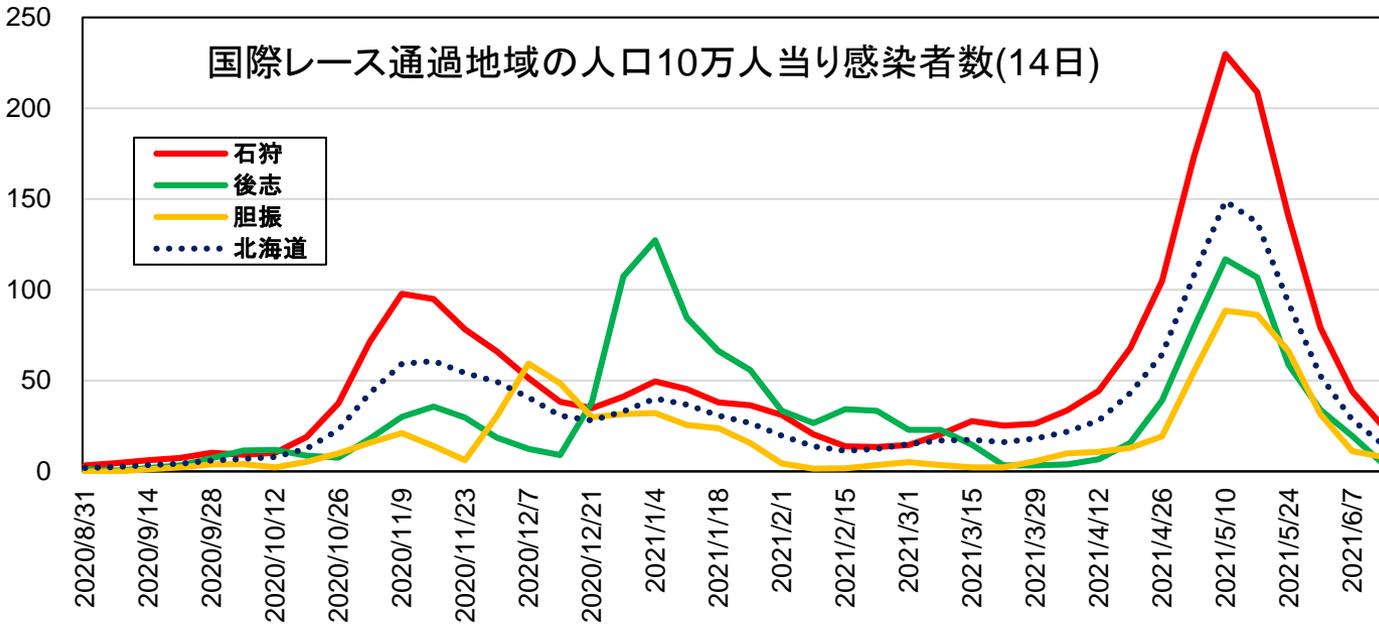


Fig-5 Effective Reproduction Number

東洋経済オンラインサイト
新型コロナウイルス国内感染の状況 より

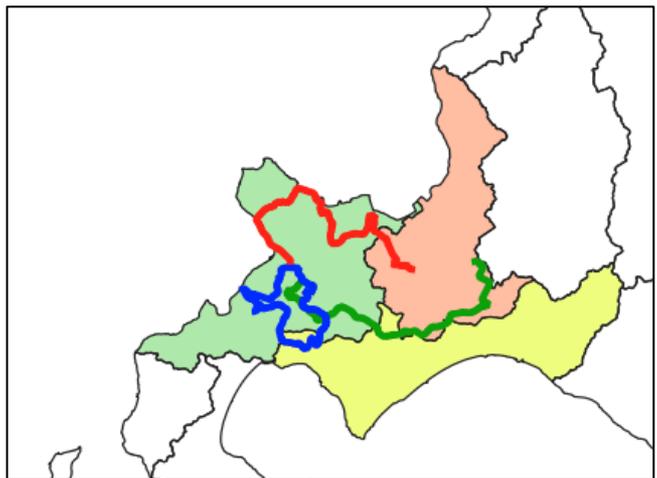


14日間の始まり日



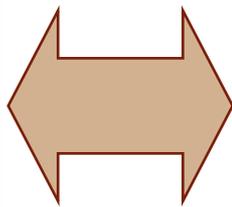
Hokkaido Alert Stage

警戒ステージ	14日間10万人あたりの新規陽性者数	陽性率
2	4以上	
3	5以上	
4	30以上	10%
5	50以上	10%



人口10万人当り14日間
新規感染者数
2021年6月14日～27日

通過振興局	新規報告数
石狩	24.3
後志	3.8
胆振	7.9
北海道全体	14.6



3.「ツール・ド・北海道2021」 国際レースのリスク評価

一般的に「リスクアセスメント」においては、はじめに「リスクマトリックス法」などを利用しながら、ハザードと対策、リスク発生の確率等を定性的(定量的)に分析し、対策と効果等に関する整理を行う。UCI規則の昨年夏のバージョンでは、下図右側のようなマトリックスが示されていた。一方北海道では「警戒ステージ」を設け、警戒ステージ1～5が定義された(下図左側)。両者の評価分類方法は類似しており、ツール・ド・北海道協会では両者のステージ分類を関連付けてリスク段階を設定することとした。

北海道 警戒ステージ		緩和策 レベルD (76-100)	緩和策 レベルC (51-75)	緩和策 レベルB (26-50)	緩和策 レベルA (0-25)
—	無視できる Negligible	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い
1	非常に低いリスク Very Low Risk	非常に低い	非常に低い	低い	低い
2	低リスク Low Risk	低い	低い	低い	中位
3	中リスク Moderate Risk	低い	中位	中位	中位
		中位	中位	高い	非常に高い
4	高リスク High Risk	高い	高い	非常に高い	非常に高い
5	非常に高いリスク Very High Risk	非常に高い	非常に高い	非常に高い	非常に高い

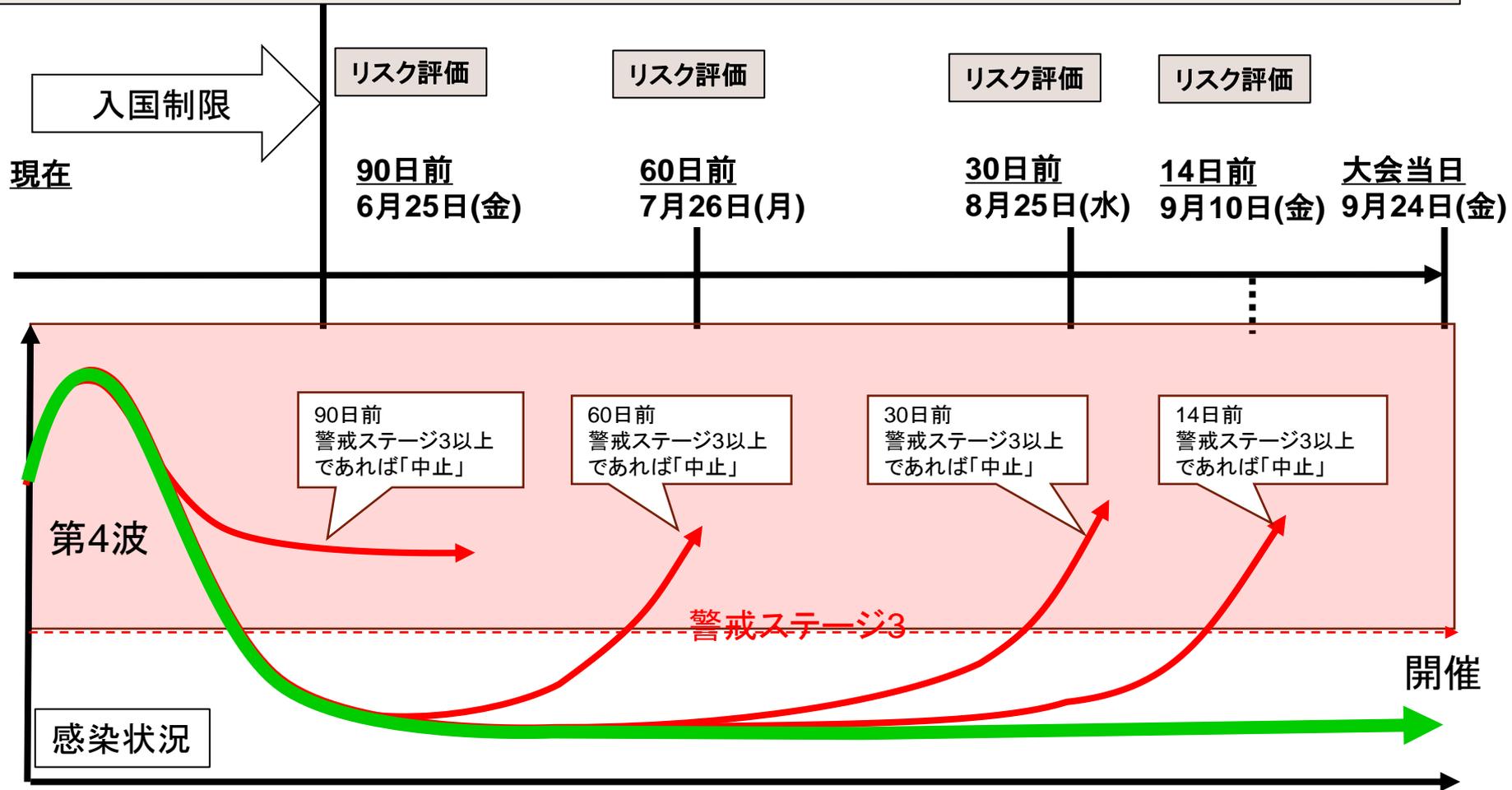
Emergency rules to be followed for the resumption of the road cycling season in the context of the coronavirus pandemic UCI Class 1 – UCI Class 2 events August 10, 2020 UCI

UCI規則(旧バージョン)では、リスク評価について下表左側のような記述となっている。
 これを「ツール・ド・北海道2021」に当てはめる際、大会時には「チーム」の感染リスクばかりでなく、「審判」「スタッフ」「観客」も含めた包括的なリスク対策が必要であり、ツール・ド・北海道が地域の医療提供体制に及ぼす影響も加味すると、UCIの解説文よりも一段階慎重な対応が必要と考え、下表右側のような考え方を整理した。なお、大会準備に従事する担当者等の健康リスク等も勘案し、大会前「90日前」から段階的にリスク評価を行うこととして作成した国際レースの評価方針が、次ページの図である。

大会開催に係る総括的リスク評価の解説

大会開催リスク	UCIの解説	TDHの考え方(案)
非常に低い	大会に関連するCOVID-19の伝播およびさらなる拡大の全体的なリスクは非常に低い。	大会開催。
低い	大会に関連するCOVID-19の伝播およびさらなる拡大の全体的なリスクは低い。緩和策のチェックを強化することを推奨する。	
中程度	大会に関連するCOVID-19の伝播およびさらなる拡大の全体的なリスクは中程度。緩和策を改善するか、感染のリスクを減らすための努力を推奨する（リスク評価スコアを下げる）。	スタッフ・観客等へのリスク対策を検討する必要。地方部等における医療体制ひっ迫等勘案する必要。財政事情等を踏まえると、高額なコスト負担となる対策は困難。
高い	大会に関連するCOVID-19の伝播およびさらなる拡大の全体的なリスクは高い。緩和策を改善し、感染のリスクを低減する（リスク評価スコアを下げる）ための重要な取り組みを推奨する。	大会中止。
非常に高い	大会に関連するCOVID-19の伝播およびさらなる拡大の全体的なリスクは非常に高い。	

- 大会90日前、政府による厳しい入国制限が続いているなら、海外チームの招待を断念する。
- リスク評価を下図のタイミングで実施する。
- 地方部における医療提供体制のひっ迫状況を勘案し、評価の時点で、北海道「警戒ステージ」が「3」以上なら大会を中止する。



1. 評価結果

6月25日現在、「北海道警戒ステージ」は「2」以下に至っておらず、リスクが高いことから当初案での大会開催は難しいと判断される。

2. 対応方針

上記の評価結果を踏まえ、理事会において「感染状況等に関する今後の推移を注視するとともに、大会規模縮小や更なる感染リスク対策強化を実施して、大会開催の可能性を検討する」こととなった。

次回のリスク評価日(7月26日(月))に改めて開催可否等に関する判断を行う。